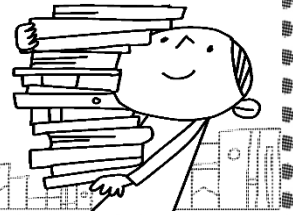


# みんなでつながる わ!



今回は6年生の公開授業「海の命」です。6年生は、第1時で出合った子どもたちの疑問から、問いをつくり、めあてを設定しました。1組、2組が人物相関図をつくり、それぞれの心情や考えを読み取る、そして3組が山場での中心人物の心情を読み取る本時となっています。今回は3組を中心に、振り返りたいと思います。

登場人物の生き方について、考えたことを話し合おう  
「海の命」6年生

## 本時の目標

- ・ 太一の気持ちの変化や葛藤の根拠となる文に着目し、父や与吉じいさの教えを本当の意味で理解した太一の成長を読み取ることができる。

## 本時の流れ（本時8/9）

- ① 相関図から前時の学習内容をふり返り、本時のめあてを確認する。

太一は、瀬の主を殺せなかったのか、殺さなかったのか？

- ② 「殺せなかったのか」「殺さなかったのか」立場を決め、選んだ根拠をノートに書いて話し合う。

- ・ 自分が選んだ選択肢にネーム磁石を貼る。
- ・ 同じ選択肢の相手と話し合う。

- ③ 全体で話し合う。

- ④ 本時の学習をふり返る。

児童が作った相関図（6年2組）



学習計画を画面に映して確認。子どもたちのタブレットにも送信し、共有しています。

「殺せなかったのか」「殺さなかったのか」について、ネーム磁石を貼り立場を決めた上で、話し合いを始めました。

## 交流の様子



先生の合図とともに動き、積極的に話し合う様子が見られました。話し終わると、また相手を見つけ、考えを伝え合っていました。

### ☆話し合いで出ていた考え☆

#### 殺せなかった

- ・ おとうだと思つて殺せなかった。
- ・ 「海を大切にしよう」という考えを受けついでいるから殺せない。

#### 殺さなかった

- 「太一は瀬の主を殺さないで済んだ」
- 「もりの刃先を足の方にどけ…」
- などの表現から殺さなかった。



